

[5] $\frac{1, 2, 3, \dots, 189}{189}$

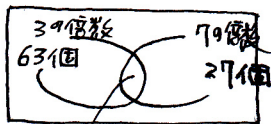
$$\begin{array}{r} 3 \overline{)189} \\ 3 \overline{)63} \\ 3 \overline{)21} \\ 7 \end{array} \rightarrow 189 = 3 \times 3 \times 3 \times 7 \text{ より}$$

分子が3の倍数と7の倍数
のとき約分ができます。

3の倍数の個数 $\dots 189 \div 3 = 63$ (個)

7の倍数の個数 $\dots 189 \div 7 = 27$ (個)

21の倍数の個数 $\dots 189 \div 21 = 9$ (個)



21の倍数 9個

約分できる個数は
 $63 + 27 - 9 = 81$ (個)

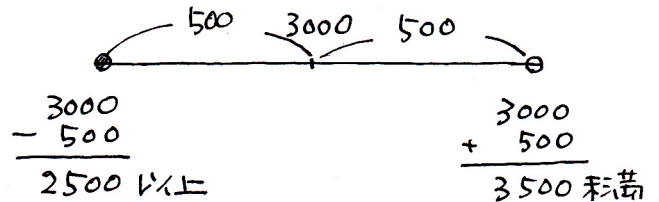
↓

約分できない個数は
 $189 - 81 = 108$ (個)

108個

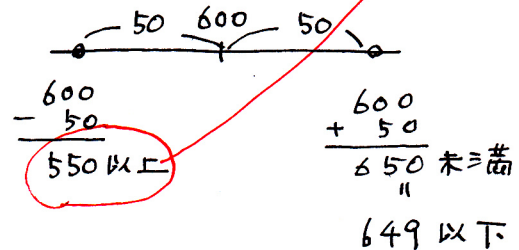
[6]

百の位を四捨五入して3000になる数は



3499以下

十の位で四捨五入して600になる数は



差が一番大きくなるのは 最大 - 最小
であから

$$3499 - 550 = 2949$$

2949

[7] 分子に加える数を□とすると

$$\frac{13 + \square}{128} = \frac{1}{8} \quad \text{分母が何倍になっ$$

ているかヒハきます。

$$128 \div 8 = 16 \text{ より 分子も } 16 \text{ 倍}$$

$$13 + \square = 1 \times 16$$

$$13 + \square = 16$$

$$\square = 16 - 13$$

$$= 3$$

3

[8]

筆算の形にすると次のようになります。

$$\begin{array}{r} \dots 7 \\ \square \overline{)175} \\ \uparrow \\ 7 \text{ 少々ければ} \end{array} \quad \begin{array}{r} \dots 3 \\ \square \overline{)163} \\ \uparrow \\ 3 \text{ 少々ければ} \end{array}$$

$$175 - 7 = 168. \quad 163 - 3 = 160$$

168と160であれば□でわり切れます。

すなわち□は168と160の公約数です。

おまの7より大きい数です。

$$\begin{array}{r} 2 \overline{)168, 160} \\ 2 \overline{)84, 80} \\ 2 \overline{)42, 40} \\ 21 \quad 20 \end{array}$$

最大公約数は $2 \times 2 \times 2 = 8$

その約数は 1, 2, 4, 8 です。

この中で7より大きい数は8です。

8